

ふるさとわがまち わが地域

久住バイパス完成！！



交通量増加 安全対策の課題が解消！

当地区は、大宮町の北東部に位置する山間集落で、北へ峠を越せば大谷川沿いに大宮町河辺へ抜けることができます。民家は、集落内を東西に走る府道「網野岩滝線」沿いに約 1.7Km にわたり細長く点在。丹後半島において国道 312 号線を表道路とするなら、この府道は裏通りの役割を果たし、丹後町・弥栄町から与謝野町・宮津市に抜ける最短距離。このことから近年、特に車の通行量が多くなり安全対策が課題となっていました。これで解消します。



英知を結集 希望がもてる地域にしたい

区が進むべき道を決定し、様々な問題を話合う場として区長、区長代理ら 8 人からなる「久住区委員会」があります。区長は、毎年この 8 人の委員の中から選出され、任期は 1 年、退任後も委員会には残ります。委員の任期の定めはないが長い人で 30 年を超えます。将来に希望が持てる地域にしていきたい。区

大宮町久住区 (H27.11 月)

人口 84 人 世帯 40 世帯

交通安全対策クリア

平成 26 年 3 月 14 日、区民の悲願であった久住バイパスが完成しました。狭い区内を通らずに通過できます。

今後自動車道が森本まで開通すると、弥栄町、網野町へ向かう車が増加すると予想されます。

しかし、バイパスが完成したことで、区内を通過する交通量は減り、課題であった安全対策が図られ、区民は安心し大変喜んでいきます。

歴史・名所

「久住」という地名は、「披露事記録」天文 8 (1539) 年閏 6 月 7 日条に「丹後国光富保 付三重内久住村」とあるのが初出です。また、この記事から、室町時代の「丹後国郷保荘惣田数帳」(たngoのくにごうほしょうそでんすうちょう) にある「光富保」は、久住区に位置することがわかっています。

当地区には、久住遺跡において弥生時代後期から人々が生活していた痕跡が確認されており、中の谷遺跡では、祭祀に使うミニチュアの土器が出土しています。また五十河真黒人(いかがのまくろうど)という長者がいたという伝説が残っています。

特に有名な名所等はありませんが、寺は本光寺(写真下)。神社は、木積神社のほか愛宕神社があります。



▲本光寺(曹洞宗)